蜘蛛駄言

福井玉夫

蜘蛛類と人生との關係と云ふやうな事を考へると，所謂クモ卽ち眞正蜘蛛は本邦では殆んど關係がないやうであるが，昆蟲等を捕食する事から云つて陰では少なからず働いてゐるものであらう。ある一種のクモが一日にどれ位どんな昆蟲を捕食するかと云ふやうな問題はくだらない事のやうであつて，クモの功績を讃へる上に必要な根據になるのであるが，筆者寡聞にして未だかやうな數量的の研究がないやうである。被害と云ふ方面から見れば蜘蛛類の中ではダニ類が最も重要なものであると思はれるが，之に就いても數量的な報告はあまりないやうに思ふ。人生との關係から云へばダニ類は最も關心を持たるべきものであるが，形が小さい爲に人目に觸れぬ事からか，ダニに關する迷信や傳說の如きは殆んどないやうに思はれるが，人體には殆んど有害と云へないやうなクモの方には色々あるやうである。

クモに關聯して一般の人の想記する所はあまりよい印象はないやうであつて一般に無氣味なもの，陰慘なもの，と云つたやうな姿を有して居るらしい。人が住まなくなつた古家や，木蔭の暗い所等には必ず蜘蛛の巢があり，一種人に嫌がられるものである。此クモ類の無氣味な肢や網に關聯してクモならぬ他の動物や物や色々の事に共の名が冠らされてゐる。一寸思ひ出すまゝに記して見ても，動物にクモヒトデ・クモザル・クモガヒ・クモガニ・カハグモ・ウミグモ・ Arachnactis 等があり，植物にクモランがあるが，之等はクモの肢の長く，形の似て居る事から來てゐるのであらう。又クモノスカビやクモノスシダ等の植物名はクモの巢から來たものであらう。手足の指趾が細長くなる畸形に arachnodactylia と名付けられて居る事はクモの肢からであらうし，腦の軟膜と硬膜との間の蜘蛛膜 arachnoidea は網から來た名と思はれる。

蜘蛛に關した傳說や藝術や歌曲等も相當あるらしいがよく知らないから思ひ出すまゝに記して見ると，源の賴光や宮本武藏の蜘蛛退治は少年の頃の幻想の

思ひ出であり，狂言の蜘の糸や蜘盗人はクモの糸や巣に關係のあるものであり源の頼光の蜘蛛退治の謠曲土蜘蛛からは長唄の蜘蛛相子舞や常磐津の蜘蛛糸梓弦等が出て居るとか聞いた事がある。何れにしてもあまり明いものでなくて，人を害するものとか，夜陰の忍び込に網に引かゝつて動けなくなつたとか云ふ暗い方面の事であるが，クモが暗い所にばかり居るものでなく，日向の明い所を走りまはるものもゐるからクモには氣の毒である。間接に人に有害な昆蟲等を捕つて居てくれる手柄者がきらはれ，一般には有害なテフが好まれるのは外面如菩薩內心如夜叉の美しい婦人がもてはやされるのと同一であらう。クモの嫌いな人も少くないやうで，中にはクモを見ると顏色をかへてふるへ上る人もないではない。こんな人は炭掴みの道具にも飛び上るであらう。

尤も一面かやうにきらはれるばかりではなくササガニの名の下に歌によまれる事もある。所がダニの方は人生との關係一層深いにもかかはらずダニを歌つた歌や，ダニの長唄，ダニの藝術なんてのはないらしい。ダニのやうな奴としつこくしがみついて吸血する實にいやなうるさい奴の事位に用ひられる。けれども淡水產の自由生活のダニ等には女の子の着物の柄にしてもよいやうなしやれた模樣をとつて居るものもある。

本邦產のクモには嚙みついて大して害を與へるものはないやうだが，中には相當有害なものも居るらしく，クモに嚙まれたる徵候に arachnitis (=arachnoiditis) arachnoiditism arachnorhinitis 等と云ふ名がある。一種の精神病に Tarantism と云ふのがあつて，Tarantula と云ふクモに嚙まれるとヒステリー狀になり，踊りまはるとなほると云ふ迷信みたいなものがあるが，これは或人の說によると15—17世紀頃南部イタリーに一種の舞踏病がはやり，タランテラを踊るとなほると云ふ事から來たのだとも云ふ。但しタランテラ Tarantella と云ふ舞踏曲は Taranto と云ふ地名から來たのだと云はれる。此方が本當だらう。ダニによつて起る病氣は acariasis である。サソリは蛇蝎の如くで，おそろしくきらはれて居るが，蝎と云ふ字はもとはキクヒムシの事で，サソリは

鼄と書くのだそうで，殷の古文に[illegible]とあるのから來たと云ふ。内地に住むものには一向我關せず焉であるが大してこはいものじやないらしい。メクラグモやサソリモドキやアトシサリ等は問題にならないものらしい。クモの絲の利用法はあるが，クモの毒の利用法はないものか知ら。尤も或る種のデキモノの治療に用ひられると云ふやうな事もきいてゐる。

會員住所變更

京都市左京區吉田中大路町34ノ50	白　甲　鏞
臺北市兒玉町3ノ6	萱　島　泉
東京市江戸川區東小松川3ノ3666	石倉秀次

新入會員

第2號は急ぎましたので校正の粗漏多く，殊に會員名簿は誤植澤山で何とも恐縮です。何れ第2巻を迎へましたら今一度名簿を掲載します。中西悟堂氏の御住所は東京市中野區城山町27です。創立會員吉澤覺文氏は退會されました。其の後會員として下記の方々を迎へましたが創立會員の受付はもう致しません。

創立會員

東京市中野區上高田1ノ88	小川典弘
京都市河原町二條南入西側　島津製作所標本部	佐藤謹一
新潟縣高田市南城町三丁目	星野悌一郎
P. O. Box 205, Zamboanga, Philippine Is.	桑島謙三

通常會員

靜岡縣富士郡富士町國久	黑澤美房
福島縣伊達郡川俣町字橋本82	高橋直敏
京都市深草第一小學校	太田正亞
盛岡市仙北町63	瀨川孝一
靜岡縣富士町　梨害蟲研究所	矢後正俊
朝鮮京城師範學校	佐藤月二
朝鮮釜山公立中學校	眞木直孝
臺北市臺灣總督府中央研究所衛生部	森下薫
佐賀市與賀町1368	山口百人